

第5・6学年複式学級国語科年間指導計画案（光村図書）（上巻）

月	(5年) 単元名・教材名	時	(6年) 単元名・教材名	時	形 態
4月	続けてみよう	1	続けてみよう	1	学年別
	特設授業	1	特設授業	1	同学年
	一 本に親しみ、人間を見つめよう ＜読む＞ 「新しい友達」	7	一 本に親しみ、自分と対話しよう ＜読む＞ 「カレーライス」	7	学年別
	漢字の成り立ち	2	漢字の形と音・意味	2	学年別
5月	二 要旨をとらえよう ＜読む＞ 「サクラソウとトラマルハナバチ」	5	二 文章を読んで自分の考えをもとう ＜読む＞ 「生き物はつながりの中に」	6	学年別
	お願いの手紙、お礼の手紙 ＜書く＞ 〔敬語〕	6	漢字の広場①	2	学年別
	詩 ＜読む＞ 「晴天」「海雀」「雪」	3	詩 ＜読む＞ 「短歌俳句の世界」	4	学年別
			「暮らしの中の言葉」	2	
6月	三 調べたことを整理して書こう ＜書く＞ 「言葉の研究レポート」 〔仮名づかいの決まり〕	10	三 相手や目的に合わせて書こう ＜書く＞ 「ガイドブックを作ろう」 〔よりよい文章に〕	11	学年別
	「インタビュー名人になろう」 ＜話す・聞く＞	5	「学級討論会をしよう」 ＜話す・聞く＞	5	同単元
	漢字の広場①	2	漢字の広場②	2	学年別
	四 読書世界を広げよう ＜話す・聞く＞＜書く＞＜読む＞ 「千年の釘にいどむ」 「本は友達」	13	四 読書世界を深めよう ＜話す・聞く＞＜書く＞＜読む＞ 「森へ」 「本は友達」	13	同単元
7月	漢字の広場②	2	漢字の広場③	2	学年別
	詩 ＜読む＞ 「未確認飛行物体」	2	詩 ＜読む＞ 「船」「りんご」	2	同単元
	「カンジー博士の暗号解読」	2	同じ訓を持つ漢字	2	学年別
	五 伝え合って考えよう ＜話す・聞く＞＜書く＞ 「人と『もの』のつき合い方」 (資料) ごみ問題ってなあに	13	五 共に考えるために伝えよう ＜話す・聞く＞＜書く＞ 「みんなで生きる町」 (資料) 多くの人が使えるように	15	同単元
10月	漢字の広場③	2	漢字の広場④	2	学年別
	和語・漢語・外来語	2	日本で使う文字	2	学年別
	言葉の森 「どうして泣くのかな」 「歌う日本列島」 「ちえの言葉、言葉のちえ」		言葉の森 「今も昔も」 狂言 「柿山伏／柿山伏について」		

※同単元指導は、AB年度方式で行う。

※学年はじめに同単元指導や学年別指導についての特設授業を設定する。

※単元内容を同一にするため、5年生の「要旨をとらえよう」と「お願いの手紙、お礼の手紙」を入れ替えた。

※両学年の単元をそろえるため5年生の漢字の広場②と「インタビュー名人になろう」を入れ替えた。

※系統的な指導をしていくため、「読む」「書く」の領域及び言語事項については、基本的に学年別指導とした。また、「話す・聞く」領域は人数が多い方が効果的な指導ができると考え同単元指導とした。さらに、読書単元や詩の単元についても学習過程の中に感想交流活動など計画的に設定していくため、同単元指導とする。但し、短歌・俳句については5年生には設定されていないため、学年別とする。

第5・6学年複式学級国語科年間指導計画例（光村図書）（上巻）

月	(5年) 単元名・教材名	時	(6年) 単元名・教材名	時	形 態
10月	一 人物の考え方や生き方をとらえよう ＜読む＞ 「わらぐつの中の神様」 〔方言と共通語〕	8	一 表現を味わい、豊かに想像しよう ＜読む＞ 「やまなし」 (資料) イーハトーヴの夢	8	学年別
11月	漢字の広場④	2	熟語の成り立ち 〔覚えておきたい言葉〕	2	学年別
	言葉の組み立て	2	漢字の広場⑤	2	学年別
12月	二 目的に応じた伝え方を考えよう ＜読む＞＜書く＞ 「ニュース番組作りの現場から」 「工夫して発信しよう」 〔編集して伝える〕	14	二 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう ＜読む＞＜書く＞ 「平和のとりでを築く」 「自分の考えを発信しよう」 〔インターネットと学習〕	14	同単元
	漢字の広場⑤	2	漢字の広場⑥	2	学年別
1月	「失敗」をめぐる ＜話す・聞く＞	6	今、わたしは、ぼくは ＜話す・聞く＞	6	同単元
	物語を作ろう ＜書く＞	4	感動を言葉に ＜書く＞	4	同単元
2月	三 言葉っておもしろいな ＜読む＞＜書く＞ 「どんなとき、だれに」 (資料) 「宇宙人からのメッセージ」 〔言葉や表現のちがいがから〕	10	三 言葉って、おもしろいな ＜話す・聞く＞＜書く＞ 「わたしたちの言葉」 (資料) 「言葉の橋」	10	同単元
	漢字の読み方と使い方	2	「カンジー博士の漢字クイズ大会」	2	学年別
	詩 ＜読む＞ 「ねぎぼうず」「ケムシ」「耳」「蝶」	2			学年別
	漢字の広場⑥	2			学年別
	同じ読み方の熟語	2			学年別
3月	学習してきたことを生かして ＜読む＞＜書く＞＜話す・聞く＞ 「大造じいさんとガン」	15	学習してきたことを生かして ＜読む＞＜書く＞＜話す・聞く＞ 「海の命」 「今、君たちに伝えたいこと」 「生きる」	12	学年別
	言葉の森 「月夜のみみずく」				

※同単元指導は、A B年度方式で行う。

※両学年の単元をそろえるため「詩」後半に入れ替えた。

※上巻において系統的な指導をしていくため、「読む」「書く」の領域については、同単元指導を計画した。

※各学年ともに最後の単元については、学年別指導で終わらせたい。